愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	保健体育教育法Ⅱ		
担当者(Instructors)	竹田 安宏	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	4	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

「基礎的な学習指導理論を踏まえた授業設計」を授業のテーマとする．中学校・高等学校（保健分野）の学習指導要領の目標・内容の理解を深め，具体的な授業場面を想定した学習指導案の作成及び質の高い模擬授業の方法を身につける．本授業では，学習指導要領に沿って保健分野の目標や内容を学習するとともに，関連した学問領域を基に健康・安全に関する理解を深め，健康管理の指導方法について模擬授業や省察を通じて考察していく．また，特性に応じ情報機器や教材の活用についても検討し，保健の実践研究の動向をもとに指導上の留意点や評価の観点を踏まえたうえで授業設計の方法を学ぶ．

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義演習
授業の方法(Class method)	オンライン講義、模擬授業は集中講義

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	本授業の概要：授業計画、授業方針、テキスト・参考書等	授業計画，授業方針，テキスト，参考書等，本授業の概要を確認する．	□
第2回	学習指導要領の理解：学習指導要領の改訂の経緯・趣旨・要点	学習指導要領の理解，学習指導要領の改訂の経緯・趣旨・要点を学ぶ．	□
第3回	学習指導要領における保健分野の目標・教育内容及び全体構造	学習指導要領における保健分野の目標・教育内容及び全体構造を学ぶ．	□
第4回	保健分野の学習目標及び領域、学習評価の考え方	保健分野の学習目標及び領域、学習評価の考え方を学ぶ．	□
第5回	保健の学習指導：多様な指導法の工夫（直接指導、課題学習、共同学習等）	保健分野における多様な指導法の工夫（直接指導、課題学習、共同学習等）を学ぶ．	□
第6回	教材研究の技法：学問領域との関係、実践研究の動向を理解した教材研究の方法	保健分野の教材研究における学問領域との関係，実践研究の動向を理解した教材研究の方法を学ぶ．	□
第7回	学習指導案の作成(１)：発育発達に応じた授業設計と学習指導案の作成	発育発達に応じた授業設計と学習指導案の作成の方法を学ぶ．	□
第8回	学習指導案の作成(２)：指導上の留意点、学習評価の考え方、評価方法を基にした指導案の検討	指導上の留意点，学習評価の考え方，評価方法を基にして指導案の検討を行う．	□
第9回	学習内容：「心身の機能の発達と心の健康」個別の学習内容の指導上の留意点	単元「心身の機能の発達と心の健康」について学習内容の指導上の留意点を学ぶ．	□
第10回	教材研究の技法：「心身の機能の発達と心の健康」保健の動向を理解した教材研究	単元「心身の機能の発達と心の健康」について，昨今の保健の動向を踏まえて教材研究を行う．	□
第11回	学習内容：「健康と環境」学習内容の指導上の留意点	単元「健康と環境」について学習内容の指導上の留意点を学ぶ．	□
第12回	教材研究の技法：「健康と環境」環境問題を理解するため情報機器や教材の効果的な活用	単元「健康と環境」についてについて、昨今の保健の動向を踏まえて教材研究を行う．	□
第13回	学習内容：「障害の防止」学習内容の指導上の留意点	単元「障害の防止」について学習内容の指導上の留意点を学ぶ．	□

第14回	教材研究の技法：「障害の防止」情報機器や教材の効果的な活用法	単元「障害の防止」について保健の動向を理解した教材研究を行う.	□
第15回	学習内容：「健康な生活と病気の予防」学習内容の指導上の留意点	単元「健康な生活と病気の予防」について学習内容の指導上の留意点を学ぶ.	□
第16回	教材研究の技法：「健康な生活と病気の予防」病気とその予防に関する認識・思考・理解力等を考慮した授業設計	単元「健康な生活と病気の予防」について昨今の保健の動向を踏まえて教材研究を行う.	□
第17回	学習内容：「健康な生活と病気の予防」学習内容の指導上の留意点	単元「健康な生活と病気の予防」について前回の成果をふまえ指導の改善点を検討する	□
第18回	教材研究：「健康な生活と病気の予防」発展的な学習内容の探求	単元「健康な生活と病気の予防」について発展的な学習内容を探求する.	□
第19回	教材研究の技法：習得・活用・探究を位置づけた授業の設計	単元のまとまりとつながりを考え、習得・活用・探究を位置づけた授業を設計する.	□
第20回	学習内容：「喫煙・飲酒・薬物乱用」学習内容の指導上の留意点	単元「喫煙・飲酒・薬物乱用」について学習内容の指導上の留意点を学ぶ.	□
第21回	学習内容：「地域での保健医療の取組み」学習内容の指導上の留意点	単元「地域での保健医療の取組み」について学習内容の指導上の留意点を学ぶ.	□
第22回	教材研究の技法：「地域での保健医療の取組み」保健医療福祉活動の理解を深める情報機器や教材の活用	単元「地域での保健医療の取組み」について昨今の保健の動向を踏まえて教材研究を行う.	□
第23回	模擬授業(１):中学校「心身の発達と心の健康」、振り返り、授業改善	中学校の保健分野「心身の発達と心の健康」の模擬授業および授業改善に向けた振り返りをする.	□
第24回	模擬授業(２):高等学校「心身の発達とストレス」、振り返り、授業改善	高等学校の保健分野「心身の発達と心の健康」の模擬授業および授業改善に向けた振り返りをする	□
第25回	模擬授業(３):中学校「健康の成り立ち」、振り返り、授業改善	中学校の保健分野「健康の成り立ち」の模擬授業および授業改善に向けた振り返りをする.	□
第26回	模擬授業(４):高等学校「私たちの健康」、振り返り、授業改善	高等学校の保健分野「私たちの健康」の模擬授業および授業改善に向けた振り返りをする.	□
第27回	模擬授業(５):中学校「健康と環境」、振り返り、授業改善	中学校の保健分野「健康と環境」の模擬授業および授業改善に向けた振り返りをする.	□
第28回	模擬授業(６):高等学校「社会生活と健康」、振り返り、授業改善	高等学校の保健分野「社会生活と健康」の模擬授業および授業改善に向けた振り返りをする.	□
第29回	模擬授業(７):中学校「障害の防止」、振り返り、授業改善	中学校の保健分野「障害の防止」の模擬授業および授業改善に向けた振り返りをする.	□
第30回	本授業のまとめ	本授業のまとめと振り返りをする.	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

予習→授業前に教科書及び参考書を用いて１時間程度の予習を行う。復習→授業時に提示された課題を１時間程度で完成させ提出。模擬授業の準備（教材研究、指導案作成）を１０時間程度かけて模擬授業に臨む。模擬授業振り返りシートを１時間程度でまとめて提出。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

講義後に課題を提出し、理解できていないことについては次時の講義で説明する. 模擬授業の指導案提出後は添削してフィードバックする. 模擬授業振り返りシート提出後は、コメントを記入して返却する.

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 教職課程	保健体育教員としての使命感をもって保健教育の指導を正しく行うことができる. 保健科教育に関する知識の獲得と指導内容に応じた適切な指導方法の選択ができる.

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内レポート（２０％）、授業内確認テスト（３０％）、模擬授業と指導案（５０％）

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	中学校学習指導要領（平成29年告示解説）保健体育編東山書房	978-8278-1560-3
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	「高等学校学習指導要領　保健体育」（平成30年3月　文部科学省）	
2	「高等学校学習指導要領解説　保健体育編」（平成30年7月　文部科学省）	
3		
4		
5		